



# BNP パリバグループ 2010 年度第 2 四半期決算報告書

**2010 年度第 2 四半期株主帰属純利益：21 億ユーロ**

新たな事業規模となったグループに適合する、多様かつ統合されたビジネスモデルの有効性によりリスク費用が減少

	2010 年度第 2 四半期	前年同期比	前年同期比 連結範囲変更及び 為替変動の影響を除く
営業収益	111 億 7400 万ユーロ	+ 11.8%	+ 0.0%
営業費用	- 64 億 1400 万ユーロ	+ 10.2%	- 1.2%
営業総利益	47 億 6000 万ユーロ	+ 14.0%	+ 1.7%
リスク費用	- 10 億 8100 万ユーロ	- 53.9%	- 60.4%
株主帰属純利益	21 億 500 万ユーロ	+ 31.2%	N.S.

**2010 年度上半期株主帰属純利益：44 億ユーロ (+ 39%/2009 年度上半期)**

1 株当たり中間純利益：3.6 ユーロ (+ 25%/2009 年度上半期)

## ソルベンシー比率

	2010 年 6 月 30 日現在	2010 年 3 月 31 日現在
TIER 1 比率	10.6%	10.5%
コア TIER 1 比率	8.4%	8.3%

## BNP パリバ・フォルティスの統合が奏功

- 法律上の合併および統合は事業部門、管理部門、海外拠点で大規模に進行中
- 既報の計画に先んじたシナジー効果：9 億ユーロの期待シナジー効果のうち、4 億 200 万ユーロのシナジー効果を既に創出

力強い利益創出力は高水準のソルベンシーの確保と積極的な実体経済への資金提供を可能にしている



2010年7月30日、BNPパリバ取締役会は、ミシェル・ペブロー会長が議長を務める会議において、当グループの2010年度第2四半期の業績および2010年度上半期財務諸表を検討しました。

## 四半期純利益 21 億ユーロ

2010年度第2四半期では、有利とは言い難い経済情勢にもかかわらず、BNPパリバグループは、BNPパリバ・フォルティスを含むグループの新たな事業規模に適合する多様かつ統合されたビジネスモデルの有効性を確認することができました。BNPパリバグループは、リスク費用の減少も手伝って、第1四半期に引き続き堅調な業績を維持しました。(株主帰属)純利益は21億500万ユーロに上り、2009年度第2四半期比で31.2%増加し、また2010年度第1四半期の極めて高い水準と比較しても7.8%の減少に留まりました。

当グループは、営業収益11億7400万ユーロを計上しました。これは2009年度第2四半期比で、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除いて、11.8%の増加でした。リテール・バンキング事業部門と資産運用および証券管理事業部門の大幅な増収はコーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門の減収を埋め合わせるかたちになりました。グループの発行社債の再評価によって、2009年度第2四半期では2億3700万ユーロの費用が発生したのに比べ、2010年度第2四半期では2億3500万ユーロの利益をもたらしました。営業費用64億1400万ユーロは、2009年度第2四半期比で10.2%(1.2%<sup>1</sup>減)となり、営業総利益は14.0%(1.7%<sup>1</sup>増)増加しました。

リスク費用10億8100万ユーロは、過去数四半期に引き続き持続的な減少傾向を示しました。2009年度第2四半期から半分以上の急減となったことにより、営業利益は倍増しました。税引前利益36億7600万ユーロは、2009年度第2四半期比で69.4%急増しました。

当四半期の平均法人所得税率は、イタリアおよび米国でのフォルティス・グループの法的統合に伴う一時的な費用1億6000万ユーロが原因となって、異常に高い(34.2%)数値となっています。

2010年度上半期全体で、当グループの営業収益は227億400万ユーロとなり、2009年度上半期比16.6%増加しました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除外すると、営業収益は変化が少なく横ばいの状態でした(0.2%増)。営業費用の適切な管理(1.4%<sup>1</sup>減)により、営業総利益を96億9400万ユーロまで2.3%<sup>1</sup>増加させることができました。これは当グループのキャッシュ・フローを生み出す能力が強力であることを示しています。2009年度上半期比でリスク費用がほぼ半分にまで急減したことにより、株主帰属純利益は43億8800万ユーロ、2009年度上半期比で38.8%増加しました。

結果、普通株1株当たり中間純利益は3.6ユーロ(2009年度上半期比25%増)となりました。年率換算株主資本利益率は、2009年度上半期の11.8%に比べ、13.7%にまで増加しました。

BNPパリバ・フォルティス各社およびBGL BNPパリバ各社のBNPパリバグループ内への広範囲にわたる再編は、すべての事業部門、管理部門、海外拠点における全従業員の専心およびサポートにより急速に進行しております。シナジー効果については、2009年度の財務諸表で既に計上された1億2000万ユーロに加え、2010年上半期では1億2300万ユーロが追加計上されました。それらの既に計上されている2億4300万ユーロに加え、既に実施済みであるが会計上は今後の四半期に

<sup>1</sup> 連結範囲変更および為替レート変動の影響を除く。



計上される通年でのシナジー効果は 1 億 5900 万ユーロに上ります。このように、統合努力により創出された総額 4 億 200 万ユーロに上るシナジー効果は、既に公表されている計画よりも先行しています。

## 全ての事業部門が利益に貢献

当四半期において、当グループの全ての事業部門が事業展開を推し進め、業績にプラスの貢献をしました。結果、BNP パリバは、多様かつ統合され、顧客のニーズに基づいたビジネスモデルが強固であることを実証しました。

## リテール・バンキング事業部門

### フランス国内リテール・バンキング (FRB)

フランス国内リテール・バンキングの銀行ネットワークは、引き続き顧客へのサービス提供に注力しました。残高が 7.8%<sup>1</sup> 増加した住宅ローンを筆頭として、融資残高は 2009 年度第 2 四半期比で 3.3%<sup>1</sup> 増加しました。一方、法人顧客向け融資の需要は低迷したままです。大量の資金流入による純預金の増加で、2009 年第 2 四半期比で要求払い預金は+7.0%<sup>1</sup> 増加し、普通預金は+2.1%<sup>1</sup> 増加し、市場金利連動型預金が 29.1%<sup>1</sup> 減少するという、より好ましい構成比にシフトしました。

営業およびマーケティング努力により、FRB は 17 億 3200 万ユーロに上る営業収益<sup>2</sup>を上げ、これは 2009 年第 2 四半期から 5.9%の増加でした。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除外すると、営業収益は 4.0%増加しました。純利息収入は、残高の増加および預金のより好ましい構成比へのシフトに伴って、+3.4%<sup>1</sup> 増加しました。手数料収入は、株式市場のボラティリティによる金融手数料への悪影響にもかかわらず、4.8%<sup>1</sup> の増加を果たしました。

営業収益の増加に加え、従業員へのインセンティブ手当や利益分配スキームの追加実施による営業費用の増加が 3.0%<sup>1</sup>にとどまったことにより、営業総利益は 2009 年度第 2 四半期比で 5.9%<sup>1</sup>増加しました。

リスク費用は融資残高の 35 ベーシスポイントとなりました。2009 年度第 2 四半期の 48 ベーシスポイントからは減少しましたが、2010 年度第 1 四半期の 37 ベーシスポイントとほぼ同水準となりました。

フランス国内リテール・バンキング事業による純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は、PEL/CEL の影響を除くと、4 億 7900 万ユーロに上り、2009 年度第 2 四半期比で 16.5%<sup>1</sup>の増加でした。

2010 年度上半期全体で、営業収益<sup>2</sup>は 2009 年度上半期比で 4.5%<sup>1</sup>増加し、営業費用<sup>2</sup>は 2.4%<sup>1</sup>増加しました。これは、2010 年度通期目標である 1 ポイントの正のジョーズ効果に沿ったものとなりました。対利益コスト比率は 1.3 ポイント<sup>1</sup>改善し 63.1%へととなりました。このような好調な業績に加え、リスク費用の安定化により、FRB の税引前利益は 9 億 8600 万ユーロとなり、フランス国

<sup>2</sup> PEL/CEL の影響の除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む



内リテール・バンキング事業による純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後、当該期間で 12.5%<sup>1</sup> の増加をみせました。

### **BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)**

困難な状況が続いている経済環境下で、BNL bc は支店の新設に加え新規顧客の獲得を追求し続け、事業展開を推し進めてきました。当四半期で、個人顧客の当座および預金口座は 13,000 口の純増をみせ、上半期累計で 30,000 口となりました。これは、2009 年度上半期に匹敵する数となりました。法人顧客の設備投資向け融資は上昇をみせたものの、全体の融資残高は 2009 年度第 2 四半期比で横ばい状況<sup>1</sup> にとどまりました。預金については要求払い預金の増加に伴い、当四半期で 5.8%<sup>1</sup> 増加しました。純資金流入額はイタリア市場における生命保険商品およびオープン型投資信託において純増であったものの、当該市場において当四半期では投資信託の流出も<sup>3</sup>みられました。

営業収益<sup>4</sup>は 7 億 5500 万ユーロ、2009 年度第 2 四半期比で 1.9% の増加でした。連結範囲の変更および為替レート変動の影響を除くと、営業収益は 1.6% 増加しました。増加の要因は、融資残高の増加および手数料収入が増加したことです。

バンカ UCB およびフォルティス・イタリアの業務統合による追加的シナジーの初期効果により、営業費用は 1.4%<sup>1</sup> 減少しました。

リスク費用は 108 ベーシスポイントと、2009 年度第 4 半期から一定水準を保っていますが、2009 年度第 2 四半期比では中小企業セグメントが原因となり、14 ベーシスポイント増加しました。

イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の BNL bc の税引前利益は 1 億 300 万ユーロとなり、2009 年度第 2 四半期比で 18.3%<sup>1</sup> の減少でした。

2010 年度上半期全体で、営業収益の 2.3%<sup>1</sup> 増加に加え、営業費用の減少(0.7%<sup>1</sup> 減)により、営業総利益は 2009 年度上半期比で 6.7%<sup>1</sup> 増加し、3 ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。これは 2010 年度通期目標通りとなりました。対利益コスト比率<sup>4</sup>は 1.7 ポイント<sup>1</sup> 改善し 57.9% となりました。イタリア国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は、リスク費用の増加(42.8%<sup>1</sup> 増)により、2 億 2600 万ユーロとなり、2009 年度上半期比で 27.7%<sup>1</sup> 減少しました。

### **BeLux リテール・バンキング**

BeLux リテール・バンキングは、BNP パリバ・フォルティスおよび BGL BNP パリバの一部であり、ベルギーおよびルクセンブルク国内で展開するリテール・バンキング事業の名称です。Belux リテール・バンキングは営業およびマーケティング努力を引き続き行うことで、顧客の事業に対する新たな信認を十分に活かしており、それは規模の拡大によって示されています。

<sup>3</sup> 出典: Assogestioni.

<sup>4</sup> イタリア国内プライベート・バンキングの 100% を含む



個人向け要求払い預金(6.8%<sup>1</sup>増)および貯蓄預金への多額の資金流入により、預金残高は 2009 年度第 2 四半期比で 13.2%<sup>1</sup>増となりました。融資残高は 1.4% 伸び、特に法人向け融資残高の増加(3.7%<sup>1</sup>増)やベルギーおよびルクセンブルク国内での住宅ローンが格段に伸びました(8.9%<sup>1</sup>増)。

営業収益<sup>5</sup>は 8 億 3600 万ユーロに上り、プロフォーマ・ベースの 2009 年度第 2 四半期比で 7.2%<sup>1</sup>の増加でした。これには堅実な販売およびマーケティング成果が貢献しています。

ビジネスプランの実行に伴うコスト管理に向けた取り組みが功を奏し、営業費用はプロフォーマ・ベースの 2009 年度第 2 四半期比で 2.0%<sup>1</sup>の増加に抑えられ、この努力により BeLux リテール・バンキングは営業総利益が 22.9%<sup>1</sup>の増加となりました。

リスク費用は融資残高の 32 ベーシスポイントと、2009 年度第 2 四半期の高い水準(プロフォーマ・ベースで 66 ベーシスポイント)に比べ減少しました。

ベルギー国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は 1 億 5600 万ユーロに上りました。これは、プロフォーマ・ベースの 2009 年度第 2 四半期の税引前利益の 3 倍<sup>1</sup>を超える水準でした。

2010 年度上半期全体で、営業収益は 8.8%<sup>1</sup>増加したのに加え、営業費用の増加(2.0%<sup>1</sup>増)がわずかにとどまったことで、営業総利益は、プロフォーマ・ベースの 2009 年度上半期比から急増(29.3%<sup>1</sup>)しました。その結果生じた正のジョーズ効果は、2010 年度通期目標の 3 ポイントを大きく上回り、6.8 ポイントとなりました。対利益コスト比率は 70.4%となり、4.7 ポイント<sup>1</sup>改善しました。ベルギー国内プライベート・バンキングによる純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門へ配分した後の税引前利益は 3 億 9100 万ユーロに上りました。これは、金融危機による 2009 年度上半期の低いベースの 2 倍<sup>1</sup>を超える水準でした。

## 欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門は、引き続き BNP パリバ・フォルティス各社の事業統合を行っていません。6 月 3 日の TEB とフォルティス・バンク・トルコの合併契約の締結により、総資産ではトルコ第 9 位、640 支店を持つ銀行が設立されました。予定では、大規模な顧客ベースを支えに、CIB および資産運用・証券管理事業部門とのクロスセリングを拡大していきます。このビジネスプランは、現在策定過程にあります。

欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益は、4 億 6300 万ユーロに上り、2009 年度第 2 四半期比で 1.1%減少しました。連結範囲変更および為替レート変動による影響を除外すると、マグレブでは収益が増加(モロッコでは 10.0%<sup>1</sup>増、チュニジアでは 11.0%<sup>1</sup>増、アルジェリアでは 15.0%<sup>1</sup>増)していたにもかかわらず、営業収益は前年同期比で 7.7%減少しました。融資残高は、ウクライナの経済危機により、2009 年度第 2 四半期比で 3.1%<sup>1</sup>減少しました。預金残高については横ばいの状態でした(0.9%<sup>1</sup>減)。

営業費用は、前年同期比で 4.4%<sup>1</sup>増加し、3 億 5000 万ユーロとなりました。

<sup>5</sup>イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む



ウクライナ経済の改善の一方で他国における大きな変化が見られなかったことから、当部門のリスク費用は融資残高の 143 ベーシス・ポイントと、2009 年度第 2 四半期(337 ベーシス・ポイント)と比較して激減し、2010 年第 1 四半期に比して横ばいの状態を維持しました。

リスク費用の減少により、欧州・地中海沿岸諸国部門の利益は損益分岐点を回復し、税引前利益は、2009 年第 2 四半期が税引前損失 3900 万ユーロであったのに対し、2000 万ユーロを計上しました。

2010 年度上半期全体で、営業収益が 8.7%<sup>1</sup> 減少したのに加え、営業費用がわずかに増加(1.6%<sup>1</sup> 増)したことにより、営業総利益は 2009 年上半期比で 29.2%<sup>1</sup> 減少しました。しかしその一方で、リスク費用の激減(58.6%<sup>1</sup> 減)により、税引前利益は 6400 万ユーロと、前年同期の税引前損失 200 万ユーロに比べ、良い結果となりました。

## バンクウェスト

米国景気回復の脆弱性を背景に、バンクウェストの営業収益 6 億 100 万ユーロは、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除外すると、2009 年度第 2 四半期との比較で 2.3%の増加(現在の連結範囲および為替レートでは 8.9%増)にとどまりました。預金残高の順調な増加(7.3%増<sup>1</sup>)と純資金利鞘の 6 ベーシスポイント上昇が相まって、継続的な融資残高減少(5.4%減<sup>1</sup>)の相殺に寄与しました。この預金と融資における相反するトレンドによって、バンクウェストの 2009 年度第 2 四半期の預貸率は 117%から 103%に減少しました。

2009 年度第 2 四半期に実施されたコスト削減プログラムの効果の浸透によって、営業費用が 4.6%<sup>1</sup> 減少し、営業総利益は 11.6%<sup>1</sup> 増加しました。

リスク費用は、極めて高レベルであった 2009 年度第 2 四半期(289 ベーシスポイント)および 2010 年度第 1 四半期(163 ベーシスポイント)と比較して、当四半期は再び減少し、132 ベーシスポイントとなりました。最近の経済情勢の中で、全ての個人部門で延滞率が減少したことに伴い、融資の質は改善しています。

リスク費用の急激な減少と相まった営業総利益の増加により、バンクウェストは 2009 年度第 2 四半期の 6200 万ユーロの税引前損失と比較して、1 億 5300 万ユーロの税引前利益を計上しました。これにより、米国内のグループ子会社の収支が黒字に回復しました。

2010 年度上半期全体で、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除外すると、営業収益の 1.3%増加に加え、営業費用が 2.9%<sup>1</sup> 減少したことにより、営業総利益は 2009 年度上半期比で 6.6%<sup>1</sup> 増加、また対利益コスト比率は 2.3<sup>1</sup> ポイント改善し 53.8%となりました。期中を通してリスク費用が約半分に減少したことにより、前年同期の 8800 万ユーロの損失と比較して、2 億 4900 万ユーロの税引前利益となりました。

## パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス部門は、イタリアにおけるフィンドメスティック統合計画の実施を通して成長と産業化の戦略を継続的に追求するだけでなく、フランスの BPCE と共通の IT プラットフォームを構築することで業務提携を結び、またドイツ国内における 1200 支店のネットワークと 1100 万人の顧客の消費者ローンを運営するためにコメルツ銀行とジョイント・ベンチャーを設立しました。



パーソナル・ファイナンス部門の営業収益は、2009年度第2四半期と比較して17.5%増の12億5000万ユーロとなりました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外した場合、フランスとオランダにおける住宅ローンおよびラテンアメリカ地域における消費者ローンが原動力となり連結融資残高が増加(2.7%<sup>1</sup>増)したことにより、営業収益は4.8%増加しました。

マーケティング費用の増加により、2009年度第2四半期と比較して営業費用は4.9%<sup>1</sup>増加し、営業総利益は4.7%<sup>1</sup>増となりました。

リスク費用は過去数四半期で安定期に入った後で、2009年度第2四半期の255ベースポイントおよび2010年度第1四半期の258ベースポイントと比較して低下を始め、融資残高の237ベースポイントとなりました。

好調な営業成績とリスク費用の減少が相まって、税引前利益が1億9600万ユーロとなり、前年同期に比べて44.4%<sup>1</sup>の急増となりました。

2010年度上半期全体で、営業収益の増加(2009年度前半期と比較して6.0%<sup>1</sup>増)に加え、営業費用の増加(3.0%<sup>1</sup>増)が僅かであったため、営業総利益は8.9%<sup>1</sup>増となり、またその結果生じた正のジョーズ効果は、2010年度通期目標の2ポイントを上回り、3ポイントとなりました。対利益コスト比率は47.3%となり、1.4ポイント<sup>1</sup>改善しました。リスク費用は期中においてほぼ増減はありませんでした<sup>1</sup>。税引前利益は2009年度上半期と比較して36.5%<sup>1</sup>増の3億7700万ユーロとなりました。

## エクイップメント・ソリューション

当四半期においても、当事業部門は好調な中古車市場の恩恵を受け、営業収益は2009年度第2四半期と比較して36.1%増の3億9600万ユーロとなりました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外した場合でも、営業収益は23.7%の増加となりました。営業費用は1.5%<sup>1</sup>低下しました。その結果、営業総利益は57.4%<sup>1</sup>の急増となりました。リスク費用は、2009年第2四半期と比較して34.4%<sup>1</sup>減少し7200万ユーロとなりました。

それにより、2009年度第2四半期では3000万ユーロだった税引前利益は、当四半期は1億2500万ユーロとなりました。

2010年度上半期全体で、営業収益が32.8%<sup>1</sup>の急増となり、また営業費用が1.0%<sup>1</sup>の上昇にとどまったことで、営業総利益は2倍<sup>1</sup>となりました。リスク費用の21.7%<sup>1</sup>の下落は、当部門による税引前利益2億2000万ユーロと、極めて低レベル(1000万ユーロ)であった2009年度上半期からの急激なリバウンドをもたらしました。

## 資産運用および証券管理事業部門

弱気な株式市場、クレジット・スプレッドの拡大と、それによる顧客のリスク回避指向による困難な環境に直面する中で、当部門は堅実な営業成績を保ちました。当事業の営業収益は、2009年度第2四半期と比較して15.7%増加の15億3900万ユーロとなりました。連結範囲変更および為替レート変動の影響を除外すると、保険業務部門の営業収益の21.2%<sup>1</sup>の増加、証券管理業務部門の営業



収益の 2.7%<sup>1</sup> の増加(残高増加が寄与)および資産管理(富裕層向け資産運用)業務部門がよく持ちこたえたこと(営業収益の 1.1%<sup>1</sup> 増加)によって、営業収益は 5.7%増加しました。

営業費用の増加が 3.9%<sup>1</sup> と緩やかなものであったことから、当事業の税引前利益は 2009 年度第 2 四半期と比較して 32.1%増加(24.8%<sup>1</sup> 増)の 4 億 7300 万ユーロとなりました。この好業績は、当事業の業務部門全てが顧客資産の取込、運用、保護および管理において互いに補完しあう、統合されたビジネスモデルの有効性を現すものです。

運用資産は 2009 年 6 月 30 日現在と比較して 11.0%<sup>1</sup> 増、2010 年 3 月 31 日現在と比較すると横ばいの状態の 8740 億ユーロとなりました。市場環境と超低金利を嫌気する中で、資産管理業務部門では 89 億ユーロの資金が流出しました。しかし、フランス、ベルギー、ルクセンブルクおよび台湾における保険業務から 22 億ユーロ、プライベート・バンキングから 14 億ユーロおよび個人投資家から 7 億ユーロの資金流入があり、当部門の資産純減を 44 億ユーロに軽減しました。

2010 年度上半期全体で、当部門の営業収益は 2009 年度上半期比で 20.5%増(5.0%増<sup>1</sup>)の 29 億 8300 万ユーロとなりました。巧みな営業費用管理(1.5%<sup>1</sup> 増)により、営業総利益は 14.4%<sup>1</sup> 増加し、税引前利益は 2009 年度上半期と比較して急増の 9 億 4000 万ユーロ(28.6%増<sup>1</sup>)となりました。

## コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門

BNP パリバの多様なビジネスモデルは、市場業務と、営業収益の着実かつ一貫した成長を支えているファイナンス・ソリューションとの連携による顧客へのサービス提供を可能にしています。こうしたビジネスモデルの多様性によって、CIB 事業は当四半期のような困難な環境下においても充分持ちこたえられることを証明しました。

当事業の営業収益は、極めて好調であった 2009 年度第 2 四半期と比較して、30.3%の減少(37.5%<sup>1</sup> 減)となり、2010 年度第 1 四半期と比較しても 28.4%の減少となり、26 億 8500 万ユーロとなりました。

欧州資産に対する投資家の懸念によって増幅した極めて高いボラティリティと流動性の減少によって特徴づけられた市場環境への強い嫌気の中で、キャピタルマーケット業務の営業収益は、2009 年度第 2 四半期の並外れて高いレベル、30 億 3900 万ユーロと比較して、15 億 2600 万ユーロに減少しました。

フィクスト・インカム業務の営業収益が、12 億 5800 万ユーロとなったことには、プライマリー市場の縮小、クレジット・スプレッドの拡大およびボラティリティの急激な上昇が影響しました。しかし、当業務部門はユーロ建て債券およびユーロ建て社債発行<sup>6</sup>において第 1 位にランクされており、これも当業務部門のフランチャイズの強さと顧客への献身度を示しています。外為市場においても、当業務部門は G10 諸国の通貨において良好な成績を収めました。

株式およびアドバイザー業務の営業収益は、2 億 6800 万ユーロまで急速に減少しました。リテール・バンキングの顧客は、シンプルな元本確保型の仕組み商品に対する需要を依然として維持しています。しかし、市場急変の潜在的インパクトを抑えるために、当業務部門は高額なヘッジ費用をかけてリスクを自発的に制限しております。

<sup>6</sup> 出典：Thomson Reuters.





ファイナンス業務の営業収益は、2009年度第2四半期と比較して著しく上昇し、11億5900万ユーロとなりました(37.7%<sup>1</sup>増)。2010年度第1四半期と比較しても、エネルギーおよびコモディティ・ファイナンス、アセット・ファイナンスおよびプロジェクト・ファイナンスにおける重要な業務、買収ファイナンスの増加に加え、欧州と米国における堅調なフロー・ビジネスが牽引して、12.2%の増加となりました。この良好な業績は、当業務部門の好調な顧客融資活動を現すものです。

当事業部門の営業費用は2009年度第2四半期と比較して17.0%<sup>1</sup>減の14億8500万ユーロとなりました。

当四半期においては、2007年第2四半期以来初めて、引当金の戻入が、新規の引当金繰入額を上回りました。2009年度第2四半期の8億4400万ユーロおよび2010年度第1四半期の2億700万ユーロの純引当金と比較して、残高が6100万ユーロとなりました。このリスク費用の急速な減少は、新規の不良債権発生が見られなかったことによる融資の質の向上を反映したものです。

当事業部門の税引前利益は、並外れた高収益であった2009年度第2四半期と比較して、わずか16.4%<sup>1</sup>減の12億7800万ユーロとなりました。

2010年度上半期全体で、CIBの営業収益は64億3700万ユーロとなり、並外れて高収益であった2009年度上半期と比較して15.1%の減少にとどまりました。対利益コスト比率は51.9%となり、極めて低レベルであった2009年度上半期と比較して6.9ポイントの上昇となりました。リスク費用については急減し(2009年度上半期の15億4100万ユーロから1億4600万ユーロへの減少)、税引前利益は前年同期比で12.8%増(3.6%<sup>1</sup>増)の29億7500万ユーロとなりました。

2009年度上半期と比較して資本配賦を7.3%に削減する中で、この好業績は達成されました。これは、主として市場リスクの削減と資本管理の最適化によってもたらされたものです。

## コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、非経常項目(4億4000万ユーロの有価証券の減損およびグループの負債に係る2億3700万ユーロの評価損)に影響された2009年度第2四半期の2億4600万ユーロのマイナスの収益から、10億2500万ユーロの収益となりました。反対に、当四半期におけるグループに係る負債の評価益は2億3500万ユーロ増加しました。この効果に加えて、BNPパリバ・プリンシパル・インベストメントの営業収益1億5800万ユーロおよびバンキング勘定の公正価値への調整額(パーチェス法による会計処理)の償却の1億7700万ユーロが含まれています。

営業費用は2億8300万ユーロ(2009年度第2四半期は1億8400万ユーロ)となり、これには事業再構築コストである1億8000万ユーロ(2009年度第2四半期は2000万ユーロ)が含まれます。

これにより、税引前利益は前年同期の1億3800万ユーロの損失から、当四半期は6億9900万ユーロの利益となりました。

## 経済危機の期間を通して強固さを維持したビジネスモデル



これらの結果は、BNP パリバのビジネスモデルが強固であることを示しています。このビジネスモデルは経済危機のさなかから生まれ、またその危機の期間中において、営業総利益が一貫してリスク費用を大きく上回ってきたことで、当グループは毎年大きな利益を達成してきました。BNP パリバは、経済危機の渦中においても外部調達によらない利益によりソルベンシーを強固にし、加えて2009年10月に増資を行うことにより更にそれを強化しました。

当グループの強固なビジネスモデルが、健全なバランスシートと良質な資産と相まって、グループはストレステストに成功裏に合格し、監督当局により最悪のシナリオにおいて必要であるとみなされる最低限の資本額に対しても200億ユーロ超のバッファを維持しております。

5月に市場不安が顕在化してからも、当グループは豊富な短期流動性を再び維持しており、またインターバンク市場への依存も依然として限定的です。2010年の中長期資金調達プログラムについては、既にその4分の3を完了しております。

これらの強固な基盤によって、当グループは、以下のような意欲的かつ差別化された成長戦略を追求していきます：

- 国内市場における競争での優位性の獲得；
- 欧州・地中海沿岸諸国において、リーディングポジションと第一級の産業基盤を獲得することによる市場シェアの拡大；
- グループが新たに獲得した事業規模の優位性を活かし、またバンクウエストの利益を連結することによる、米国市場における事業拡大；
- CIBと資産運用および証券管理事業における確立されかつ強固なポジションにより、アジアおよびラテンアメリカ諸国での高度成長の機会の確保。

以上の業績に対するコメントとして、ボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

*「当四半期の厳しい市場環境にもかかわらず、BNP パリバは、その多様で統合され顧客中心のビジネスモデルが有効であることを確認しました。」*

フォルティスの速やかで効率的な統合を実施する過程で、当グループの従業員の素晴らしい献身により好業績が達成されたことを感謝します。

全ての事業部門は、事業発展計画に邁進し、リスク費用の削減とともに、強固な利益創出能力を生み出すことに貢献してくれました。これにより、当グループは高いソルベンシー水準を維持し、实体经济への積極的な資金供給を実行することが可能になりました。」



## 連結損益計算書

	2Q10	2Q09	2Q10/ 2Q09	1Q10	2Q10/ 1Q10	1H10	1H09	1H10/ 1H09
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	11,174	9,993	+11.8%	11,530	-3.1%	22,704	19,470	+16.6%
営業費用および減価償却費	-6,414	-5,818	+10.2%	-6,596	-2.8%	-13,010	-11,166	+16.5%
営業総利益	4,760	4,175	+14.0%	4,934	-3.5%	9,694	8,304	+16.7%
リスク費用	-1,081	-2,345	-53.9%	-1,337	-19.1%	-2,418	-4,171	-42.0%
営業利益	3,679	1,830	n.s.	3,597	+2.3%	7,276	4,133	+76.0%
関連会社損益	26	59	-55.9%	68	-61.8%	94	43	n.s.
その他の営業外項目	-29	281	n.s.	175	n.s.	146	284	-48.6%
営業外損益	-3	340	n.s.	243	n.s.	240	327	-26.6%
税引前利益	3,676	2,170	+69.4%	3,840	-4.3%	7,516	4,460	+68.5%
法人税	-1,248	-376	n.s.	-1,188	+5.1%	-2,436	-1,034	n.s.
少数株主帰属純利益	-323	-190	+70.0%	-369	-12.5%	-692	-264	n.s.
株主帰属純利益	2,105	1,604	+31.2%	2,283	-7.8%	4,388	3,162	+38.8%
対利益コスト比率	57.4%	58.2%	-0.8 pt	57.2%	+0.2 pt	57.3%	57.3%	+0.0pt

BNP パリバの 2010 年度第 2 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーションに含まれています。

法令上要求される開示物は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典第 1.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2010 年度第 2 四半期のコア事業の業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
<b>営業収益</b>	<b>5,925</b>	<b>1,539</b>	<b>2,685</b>	<b>10,149</b>	<b>1,025</b>	<b>11,174</b>
対前年同期比	+17.1%	+15.7%	-30.3%	-0.9%	n.s.	+11.8%
対前四半期比	+0.9%	+6.6%	-28.4%	-8.3%	n.s.	-3.1%
営業費用および減価償却費	-3,558	-1,088	-1,485	-6,131	-283	-6,414
対前年同期比	+16.4%	+15.6%	-9.2%	+8.8%	+53.8%	+10.2%
対前四半期比	+2.9%	+6.4%	-20.1%	-3.3%	+11.0%	-2.8%
<b>営業総利益</b>	<b>2,367</b>	<b>451</b>	<b>1,200</b>	<b>4,018</b>	<b>742</b>	<b>4,760</b>
対前年同期比	+18.4%	+15.9%	-45.8%	-12.7%	n.s.	+14.0%
対前四半期比	-1.9%	+7.1%	-36.6%	-15.0%	n.s.	-3.5%
リスク費用	-1,164	3	61	-1,100	19	-1,081
対前年同期比	-20.9%	n.s.	n.s.	-53.0%	n.s.	-53.9%
対前四半期比	-0.2%	n.s.	n.s.	-20.0%	-50.0%	-19.1%
<b>営業利益</b>	<b>1,203</b>	<b>454</b>	<b>1,261</b>	<b>2,918</b>	<b>761</b>	<b>3,679</b>
対前年同期比	n.s.	+24.4%	-8.1%	+28.8%	n.s.	n.s.
対前四半期比	-3.5%	+8.4%	-25.2%	-12.9%	n.s.	+2.3%
関連会社損益	21	17	4	42	-16	26
その他の営業外項目	2	2	13	17	-46	-29
<b>税引前利益</b>	<b>1,226</b>	<b>473</b>	<b>1,278</b>	<b>2,977</b>	<b>699</b>	<b>3,676</b>
対前年同期比	n.s.	+32.1%	-7.3%	+29.0%	n.s.	+69.4%
対前四半期比	-4.0%	+1.3%	-24.7%	-13.5%	+75.2%	-4.3%

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
<b>営業収益</b>	<b>5,925</b>	<b>1,539</b>	<b>2,685</b>	<b>10,149</b>	<b>1,025</b>	<b>11,174</b>
前年同期	5,058	1,330	3,851	10,239	-246	9,993
前四半期	5,872	1,444	3,752	11,068	462	11,530
営業費用および減価償却費	-3,558	-1,088	-1,485	-6,131	-283	-6,414
前年同期	-3,058	-941	-1,635	-5,634	-184	-5,818
前四半期	-3,459	-1,023	-1,859	-6,341	-255	-6,596
<b>営業総利益</b>	<b>2,367</b>	<b>451</b>	<b>1,200</b>	<b>4,018</b>	<b>742</b>	<b>4,760</b>
前年同期	2,000	389	2,216	4,605	-430	4,175
前四半期	2,413	421	1,893	4,727	207	4,934
リスク費用	-1,164	3	61	-1,100	19	-1,081
前年同期	-1,472	-24	-844	-2,340	-5	-2,345
前四半期	-1,166	-2	-207	-1,375	38	-1,337
<b>営業利益</b>	<b>1,203</b>	<b>454</b>	<b>1,261</b>	<b>2,918</b>	<b>761</b>	<b>3,679</b>
前年同期	528	365	1,372	2,265	-435	1,830
前四半期	1,247	419	1,686	3,352	245	3,597
関連会社損益	21	17	4	42	-16	26
前年同期	13	21	4	38	21	59
前四半期	21	26	5	52	16	68
その他の営業外項目	2	2	13	17	-46	-29
前年同期	30	-28	3	5	276	281
前四半期	9	22	6	37	138	175
<b>税引前利益</b>	<b>1,226</b>	<b>473</b>	<b>1,278</b>	<b>2,977</b>	<b>699</b>	<b>3,676</b>
前年同期	571	358	1,379	2,308	-138	2,170
前四半期	1,277	467	1,697	3,441	399	3,840
法人税						-1,248
少数株主帰属純利益						-323
<b>株主帰属純利益</b>						<b>2,105</b>



2010 年度上半期のコア事業の業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位：百万ユーロ)						
<b>営業収益</b>	<b>11,797</b>	<b>2,983</b>	<b>6,437</b>	<b>21,217</b>	<b>1,487</b>	<b>22,704</b>
対前年同期比	+23.7%	+20.5%	-15.1%	+8.3%	n.s.	+16.6%
営業費用および減価償却費	-7,017	-2,111	-3,344	-12,472	-538	-13,010
対前年同期比	+23.3%	+19.9%	-1.8%	+14.9%	+75.2%	+16.5%
<b>営業総利益</b>	<b>4,780</b>	<b>872</b>	<b>3,093</b>	<b>8,745</b>	<b>949</b>	<b>9,694</b>
対前年同期比	+24.3%	+22.0%	-25.9%	+0.1%	n.s.	+16.7%
リスク費用	-2,330	1	-146	-2,475	57	-2,418
対前年同期比	-9.8%	n.s.	-90.5%	-40.5%	n.s.	-42.0%
<b>営業利益</b>	<b>2,450</b>	<b>873</b>	<b>2,947</b>	<b>6,270</b>	<b>1,006</b>	<b>7,276</b>
対前年同期比	+93.8%	+28.6%	+12.0%	+37.1%	n.s.	+76.0%
関連会社損益	42	43	9	94	0	94
その他の営業外項目	11	24	19	54	92	146
<b>税引前利益</b>	<b>2,503</b>	<b>940</b>	<b>2,975</b>	<b>6,418</b>	<b>1,098</b>	<b>7,516</b>
対前年同期比	+88.8%	+42.6%	+12.8%	+38.8%	n.s.	+68.5%
法人税	0	0	0	0	0	-2,436
少数株主帰属純利益	0	0	0	0	0	-692
<b>株主帰属純利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,388</b>
年率換算株主資本純利益率	0	0	0	0	0	13.7%



## 四半期決算

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
(単位：百万ユーロ)						
<b>グループ事業</b>						
営業収益	9,477	9,993	10,663	10,058	11,530	11,174
営業費用および減価償却費	-5,348	-5,818	-6,037	-6,137	-6,596	-6,414
営業総利益	4,129	4,175	4,626	3,921	4,934	4,760
リスク費用	-1,826	-2,345	-2,300	-1,898	-1,337	-1,081
営業利益	2,303	1,830	2,326	2,023	3,597	3,679
関連会社損益	-16	59	61	74	68	26
その他の営業外項目	3	281	58	-2	175	-29
税引前利益	2,290	2,170	2,445	2,095	3,840	3,676
法人税	-658	-376	-918	-574	-1,188	-1,248
少数株主帰属純利益	-74	-190	-222	-156	-369	-323
株主帰属純利益	1,558	1,604	1,305	1,365	2,283	2,105

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
(単位：百万ユーロ)						
<b>フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)</b>						
営業収益	1,598	1,621	1,638	1,613	1,749	1,726
うち受取利息純額	934	945	945	921	1,015	1,006
うち手数料	664	676	693	692	734	720
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140	-1,152	-1,091	-1,109
営業総利益	577	567	498	461	658	617
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122	-116
営業利益	484	425	370	306	536	501
営業外損益	1	0	0	0	0	0
税引前利益	485	425	370	306	536	501
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33	-28
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	460	400	345	279	503	473
<b>PEL / CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む*)</b>						
営業収益	1,602	1,635	1,659	1,645	1,753	1,732
うち受取利息純額	938	959	966	953	1,019	1,012
うち手数料	664	676	693	692	734	720
営業費用および減価償却費	-1,021	-1,054	-1,140	-1,152	-1,091	-1,109
営業総利益	581	581	519	493	662	623
リスク費用	-93	-142	-128	-155	-122	-116
営業利益	488	439	391	338	540	507
営業外損益	1	0	0	0	0	0
税引前利益	489	439	391	338	540	507
資産運用および証券管理事業帰属利益	-25	-25	-25	-27	-33	-28
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	464	414	366	311	507	479
<b>フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)</b>						
営業収益	1,545	1,566	1,580	1,556	1,685	1,665
営業費用および減価償却費	-993	-1,025	-1,108	-1,123	-1,060	-1,078
営業総利益	552	541	472	433	625	587
リスク費用	-93	-141	-127	-154	-122	-114
営業利益	459	400	345	279	503	473
営業外損益	1	0	0	0	0	0
税引前利益	460	400	345	279	503	473



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
(単位：百万ユーロ)						
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む*)</b>						
営業収益	727	741	760	775	759	755
営業費用および減価償却費	-426	-445	-442	-488	-433	-443
営業総利益	301	296	318	287	326	312
リスク費用	-115	-165	-185	-206	-200	-205
営業利益	186	131	133	81	126	107
営業外損益	0	1	0	-1	0	-2
税引前利益	186	132	133	80	126	105
資産運用および証券管理事業帰属利益	0	-2	-3	-2	-3	-2
<b>BNL bc の税引前利益</b>	<b>186</b>	<b>130</b>	<b>130</b>	<b>78</b>	<b>123</b>	<b>103</b>
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)</b>						
営業収益	722	734	753	766	751	746
営業費用および減価償却費	-421	-441	-437	-481	-428	-436
営業総利益	301	293	316	285	323	310
リスク費用	-115	-164	-186	-206	-200	-205
営業利益	186	129	130	79	123	105
営業外損益	0	1	0	-1	0	-2
税引前利益	186	130	130	78	123	103
<b>BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む*)</b>						
営業収益	0	402	810	799	864	836
営業費用および減価償却費	0	-309	-568	-610	-598	-599
営業総利益	0	93	242	189	266	237
リスク費用	0	-111	-168	-74	-15	-66
営業利益	0	-18	74	115	251	171
関連会社損益	0	1	1	-1	0	3
その他の営業外項目	0	1	1	-7	2	0
税引前利益	0	-16	76	107	253	174
資産運用および証券管理事業帰属利益	0	-10	-11	-15	-18	-18
<b>BeLux の税引前利益</b>	<b>0</b>	<b>-26</b>	<b>65</b>	<b>92</b>	<b>235</b>	<b>156</b>
<b>BeLux リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)</b>						
営業収益	0	383	782	766	831	804
営業費用および減価償却費	0	-300	-551	-593	-582	-585
営業総利益	0	83	231	173	249	219
リスク費用	0	-111	-168	-73	-16	-66
営業利益	0	-28	63	100	233	153
関連会社損益	0	1	1	-1	0	3
その他の営業外項目	0	1	1	-7	2	0
税引前利益	0	-26	65	92	235	156

\*税引前利益の計算には、プライベート・バンキングの100%を含む



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
(単位：百万ユーロ)						
<b>欧州・地中海沿岸諸国</b>						
営業収益	429	468	452	498	454	463
営業費用および減価償却費	-236	-286	-333	-339	-330	-350
営業総利益	193	182	119	159	124	113
リスク費用	-162	-218	-234	-255	-89	-92
営業利益	31	-36	-115	-96	35	21
関連会社損益	6	-4	4	6	12	-1
その他の営業外項目	0	1	0	-1	-3	0
税引前利益	37	-39	-111	-91	44	20
<b>バンクウェスト</b>						
営業収益	561	552	549	500	533	601
営業費用および減価償却費	-309	-316	-267	-275	-288	-322
営業総利益	252	236	282	225	245	279
リスク費用	-279	-299	-342	-275	-150	-127
営業利益	-27	-63	-60	-50	95	152
営業外項目	1	1	0	1	1	1
税引前利益	-26	-62	-60	-49	96	153
<b>パーソナル・ファイナンス</b>						
営業収益	1,026	1,064	1,103	1,147	1,261	1,250
営業費用および減価償却費	-508	-509	-493	-558	-576	-592
営業総利益	518	555	610	589	685	658
リスク費用	-415	-462	-513	-548	-524	-488
営業利益	103	93	97	41	161	170
関連会社損益	14	19	15	13	13	21
その他の営業外項目	1	26	-1	5	7	5
税引前利益	118	138	111	59	181	196
<b>エクイップメント・ソリューション</b>						
営業収益	197	291	336	376	357	396
営業費用および減価償却費	-166	-181	-196	-197	-195	-195
営業総利益	31	110	140	179	162	201
リスク費用	-47	-77	-88	-95	-65	-72
営業利益	-16	33	52	84	97	129
関連会社損益	-4	-3	4	0	-4	-2
その他の営業外項目	0	0	0	-2	2	-2
税引前利益	-20	30	56	82	95	125





	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
(単位：百万ユーロ)						
<b>資産運用および証券管理</b>						
営業収益	1,146	1,330	1,436	1,451	1,444	1,539
営業費用および減価償却費	-820	-941	-1,029	-1,045	-1,023	-1,088
営業総利益	326	389	407	406	421	451
リスク費用	-12	-24	13	-18	-2	3
営業利益	314	365	420	388	419	454
関連会社損益	-9	21	-7	6	26	17
その他の営業外項目	-4	-28	2	-5	22	2
税引前利益	301	358	415	389	467	473
<b>資産管理（富裕層向け資産運用業務）</b>						
営業収益	546	721	833	835	812	833
営業費用および減価償却費	-418	-519	-607	-611	-587	-616
営業総利益	128	202	226	224	225	217
リスク費用	-4	-23	-7	-18	1	5
営業利益	124	179	219	206	226	222
関連会社損益	-2	7	-2	-7	5	4
その他の営業外項目	-4	-2	2	-6	23	7
税引前利益	118	184	219	193	254	233
<b>保険</b>						
営業収益	299	303	335	345	353	377
営業費用および減価償却費	-170	-181	-182	-192	-189	-214
営業総利益	129	122	153	153	164	163
リスク費用	-7	-2	17	0	-3	-2
営業利益	122	120	170	153	161	161
関連会社損益	-7	13	-6	13	20	14
その他の営業外項目	0	-26	0	1	-1	-5
税引前利益	115	107	164	167	180	170
<b>証券管理</b>						
営業収益	301	306	268	271	279	329
営業費用および減価償却費	-232	-241	-240	-242	-247	-258
営業総利益	69	65	28	29	32	71
リスク費用	-1	1	3	0	0	0
営業利益	68	66	31	29	32	71
営業外項目	0	1	1	0	1	-1
税引前利益	68	67	32	29	33	70



	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
(単位：百万ユーロ)						
<b>コーポレートバンキング・投資銀行</b>						
営業収益	3,728	3,851	3,478	2,440	3,752	2,685
営業費用および減価償却費	-1,772	-1,635	-1,418	-1,349	-1,859	-1,485
<b>営業総利益</b>	<b>1,956</b>	<b>2,216</b>	<b>2,060</b>	<b>1,091</b>	<b>1,893</b>	<b>1,200</b>
リスク費用	-697	-844	-698	-234	-207	61
<b>営業利益</b>	<b>1,259</b>	<b>1,372</b>	<b>1,362</b>	<b>857</b>	<b>1,686</b>	<b>1,261</b>
関連会社損益	-2	4	1	18	5	4
その他の営業外項目	2	3	-5	-5	6	13
<b>税引前利益</b>	<b>1,259</b>	<b>1,379</b>	<b>1,358</b>	<b>870</b>	<b>1,697</b>	<b>1,278</b>
<b>アドバイザーおよびキャピタル・マーケット</b>						
営業収益	2,931	3,039	2,571	1,380	2,719	1,526
営業費用および減価償却費	-1,484	-1,281	-997	-985	-1,460	-1,053
<b>営業総利益</b>	<b>1,447</b>	<b>1,758</b>	<b>1,574</b>	<b>395</b>	<b>1,259</b>	<b>473</b>
リスク費用	-277	-304	-273	-86	-127	-57
<b>営業利益</b>	<b>1,170</b>	<b>1,454</b>	<b>1,301</b>	<b>309</b>	<b>1,132</b>	<b>416</b>
関連会社損益	-2	0	2	1	1	0
その他の営業外項目	2	5	-7	-3	7	12
<b>税引前利益</b>	<b>1,170</b>	<b>1,459</b>	<b>1,296</b>	<b>307</b>	<b>1,140</b>	<b>428</b>
<b>ファイナンス業務</b>						
営業収益	797	812	907	1,060	1,033	1,159
営業費用および減価償却費	-288	-354	-421	-364	-399	-432
<b>営業総利益</b>	<b>509</b>	<b>458</b>	<b>486</b>	<b>696</b>	<b>634</b>	<b>727</b>
リスク費用	-420	-540	-425	-148	-80	118
<b>営業利益</b>	<b>89</b>	<b>-82</b>	<b>61</b>	<b>548</b>	<b>554</b>	<b>845</b>
営業外項目	0	2	1	15	3	5
<b>税引前利益</b>	<b>89</b>	<b>-80</b>	<b>62</b>	<b>563</b>	<b>557</b>	<b>850</b>
<b>コーポレート・センター (BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む)</b>						
営業収益	123	-246	194	558	462	1,025
営業費用および減価償却費	-123	-184	-205	-177	-255	-283
うち事業再構築費用	-5	-20	-33	-115	-143	-180
<b>営業総利益</b>	<b>0</b>	<b>-430</b>	<b>-11</b>	<b>381</b>	<b>207</b>	<b>742</b>
リスク費用	-6	-5	43	-40	38	19
<b>営業利益</b>	<b>-6</b>	<b>-435</b>	<b>32</b>	<b>341</b>	<b>245</b>	<b>761</b>
関連会社損益	-22	21	43	32	16	-16
その他の営業外項目	3	276	61	13	138	-46
<b>税引前利益</b>	<b>-25</b>	<b>-138</b>	<b>136</b>	<b>386</b>	<b>399</b>	<b>699</b>



## 目次

四半期純利益 21 億ユーロ	2
全ての事業部門が利益に貢献	3
リテール・バンキング事業部門	3
資産運用および証券管理事業部門	7
コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門	8
コーポレート・センター	9
経済危機の期間を通して強固さを維持したビジネスモデル	9
連結損益計算書	11
2010 年度第 2 四半期のコア事業の業績	12
2010 年度上半期のコア事業の業績	13
四半期決算	14

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2010 年 4 月 19 日に、BNP パリバは、2009 年度決算における事業部門の決算修正を発表しました。かかる修正には、BNP パリバ・フォルティスの業務を当グループの複数事業部門および業務部署に照らして分解し、事業部門間で業務を移管し、さらに、自己資本の配分をリスク加重資産の 6%から 7%へと高めた事実を反映しています。同様に、本プレゼンテーションにおいて、2009 年度決算および取引高に関わる数値は、次のように遡及修正されています。すなわち、BNP パリバ・フォルティスによる寄与は連結当初の 2009 年 5 月 12 日から初めて効力を生じたものの、あたかも 2009 年 1 月 1 日に取引が実行されたかのように修正されています。2010 年度第 1 四半期業績を 2009 年度第 1 四半期業績と比較するにあたり、「連結範囲変更の影響を除外」した増減率の計算において、BNP パリバ・フォルティスの 2009 年度第 1 四半期プロフォーマ・ベースの数値を BNP パリバの同四半期の数値に加算し、その合計額と 2010 年度第 1 四半期の数値を比較しました。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積もりおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者とともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。